

事務事業マネージメントシート

作成日 平成29年05月12日

事務事業名	栃木県地域医療介護総合確保基金事業			担当	健康福祉部 いきいき高齢課 介護認定係					
政策名	C 思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285-83-8197					
施策名	5 高齢者の自立と社会参加の支援			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業						
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ					
法令根拠	地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律				<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 28 年度～)					
予算科目	1.一般会計	3.民生費	1.社会福祉費		3.老人福祉費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度～ 年度)				
事業概要	栃木県計画に定める事業について、地域医療介護総合確保基金を財源として実施されるものであり、地域において必要となる介護施設等の整備、介護施設等の円滑な開設を支援する。交付対象となる施設は、定員29名以下の地域密着型特別養護老人ホーム等である。真岡市では、真岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、地域住民が住みなれた地域で継続して暮らしていくことができるよう、当該交付金を活用し、身近な地域に介護サービス基盤を計画的に整備する。									

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動)	<p>28年度実績 真岡地区に特別養護老人ホーム1箇所、認知症高齢者グループホーム1箇所を整備した事業者に対し、補助金を交付した。</p> <p>29年度計画 平成29年度予定なし。</p>									
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	<p>対象 真岡市内で地域密着型サービス事業所を開設する事業者。</p>									
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	<p>意図 真岡市の要介護者等が適切かつ安全に住みなれた地域で介護保険のサービスを受けられるようにする。</p>									
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか)	<p>結果 高齢者が住みなれた地域で、人々と触れ合いながら安心して生活することができる。</p>									
(2) 総事業費の推移	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)				
投 入 量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	財源内訳	県支出金	千円	0	0	0	174,200	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	千円	0	0	0	174,200	0	0	0
人 件 費	正規職員従事人数	人	0	0	0	0	1	0	0	0
		延べ業務時間	時間	0	0	0	300	0	0	0
		人件費計(B)	千円	0	0	0	1,246	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)			千円	0	0	0	175,446	0	0	0
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
①この事務事業を開始したきっかけは何か?いつごろどんな経緯で開始されたのか?	平成21年度から、栃木県介護基盤緊急整備等臨時特例交付金事業により、介護施設の整備が行われてきたが、平成26年度で事業は終了した。それに代わり平成27年度から当該事業が実施されることとなり、県内の介護施設の整備促進を図ることとされた。真岡市では第6期介護保険事業計画に基づき地域密着型サービス事業所として、特別養護老人ホーム1箇所と認知症高齢者グループホーム18床を整備する計画があつたため、当該交付金を活用し整備促進を図ることとした。									
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	急速に進展する少子高齢化にあわせ、認知症の方が増加する中、その対応が家族だけでなく、地域をあげて取組まなければならなくなっている。しかし、在宅での支援や介護が難しい認知症の方については、病院や施設への入所といった対応が必要である。									
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?										

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 要介護者が住みなれた地域で継続して生活できるよう支援することは、高齢者の自立と社会参加の支援に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 介護保険事業計画及び法律に基づき実施しているので妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 介護保険事業計画及び法律に基づき実施しているので適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 法律で定められているので向上の余地がない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 施設整備は、介護保険事業計画に基づく事業であり、休止や廃止をした場合は、事業者への負担が大きくなり円滑な施設整備ができなくなり、影響がある。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 法律で定められているので削減の余地がない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最低限の人件費で実施しているので削減の余地がない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 法律で定められているので公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																									
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																									